



国際ロータリー2620地区

長泉ロータリークラブ

週報

【2024-2025年度】



発行／会長：川瀬 一隆 幹事：望月 義明

例会／毎週水曜日 12:30～13:30

例会場／財米山記念館ホール

事務局／〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL・FAX: (055) 988 - 3070

E-mail: n-jimu@nagaizumi.com

<https://www.nagaizumi.com/>



財団法人 米山記念館と竜舌蘭

第1867回 例会 2025.5.28 wed

内容：クラブ協議会・ガバナー補佐期末訪問



長泉ロータリークラブ  
会長代理あいさつ

会長代理 杉山 弘年

改めて皆様、こんにちは！

本日の例会は川瀬会長が急遽お仕事の関係でお休みとなりましたので、私杉山が代わりに会長挨拶をさせていただきます。本日は、渡邊ガバナー補佐をお迎えしての例会となります。渡邊ガバナー補佐におかれましては、大変お忙しい中、私たちクラブの期末訪問にお越しいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。また、いつも例会にご出席いただいている長泉ロータリークラブ会員の皆様にも、深く感謝いたします。さて、今期も残すところあとわずかとなりました。この一年間、私たちは「奉仕の心」を胸に、様々な活動に取り組んでまいりました。代表となる大きな行事の一つ目は、第2グループ インターシティーミーティング「IM」でありました。当クラブの週報でその報告がなされておりましたので、ここで少し引用をさせていただきます。今回のIMは多くの参加者に恵まれ、我々スタッフ共々大きな感謝と、みなさまと共に開催が無事に 進めることができたことに改めてお礼と感謝を申し上げた次第であります。ご承知の通り長泉ロータリークラブは米山梅吉記念館のお膝元のクラブとして活動して参りました。創立当初より、記念館への支援協力を大きな目的として創立され、現在も創立時の精神に基づいて活動をしており、特に記念館に併設する「こども図書館」のサポートにおいては、イベントを通して近隣の子供たちに梅吉翁の功績などを紹介することも、クラブとして支える事業の一つとなっています。今回のテーマは「米山梅吉記念館とともに」とさせていただきます、実行委員会の井口会員が主に制作していただいた、旧米山梅吉記念館の歴史と称してスライドショーをご覧ください、多くの方から、初めて見る映像に驚きと共に作成においてお褒めの言葉を頂いたことも記憶しております。今回の開催にあたり、もう一つ「長泉らしさ」ということにも焦点を充てさせていただきます。北部地域の発展の一旦を担っている「静岡県立静岡がんセンター」で副院長をされています寺島先生にお越し頂き、講演を賜りました。また、第二部の最後に、長泉町立北中学校の吹奏楽部の皆さんにも、トークを含めた一生懸命の演奏をして頂きました。作りこむのではなく、素朴な感じが全体を通して「長泉らしさ」を表現出来たのではないかと感じていますと、川瀬会長はおっしゃっておりました。私も特に感じたのは、このIMの開催を通して本当に長泉ロータリークラブの一体感が改めて深まったことと、会員間の絆がより強固なものになったと実感しております。そして、もう一つの大きな行事は、創立40周年記念事業でありました。40年前、沼津北ロータリークラブの子クラブとして設立した長泉ロータリークラブは、「米山梅吉記念館への支援協力を大きな目的として創立し、現在も創立時の精神に基づいて活動しております。クラブ創立5周年記念では、梅吉翁が学んだ町立長泉小学校前にあるいずみ公園に銅像を建立し、「長泉町が生んだ奉仕の人 米山梅吉翁物語」を町内全世帯に配布をしました。また、25周年には、長泉町・記念館・長泉RCが協力で青少年育成を目的として、旧記念館の建物を「米山文庫こども図書館」として復活をさせたということでもあります。2019年には梅吉翁生誕150周年を記念して、「梅吉祭り」を開催しました。

中学生ボランティアにも参加を募り、町民に梅吉翁の生涯を知ってもらうためのイベントを開催し、600人近い来館者がありました。今回のクラブ創立40周年記念式典のテーマは「次世代の子供たちに残せるものは！」であり、講演家の古市 佳央（ふるいち よしお）さんをお迎えし、若者の自殺を0にしたい、優しい思いやりに溢（あふ）れた笑顔で生きていけるといったお話を頂戴することが出来ました。川瀬年度では図書館への本や絵本の寄贈を行い、イベントを通して梅吉翁の功績や記念館をPRすることで町内の子どもたちや住み始めたばかりの人にも周知し、郷土の誇りとしてもらうことを願っております。こうした二つの大きな行事と活動を通して、地域社会への貢献はもちろんのこと、会員同士の絆も一層深まったと実感しております。もちろん、時には予期せぬ課題に直面することもありました。しかし、その都度、会員の皆様の知恵と力を合わせ、乗り越えてくることができました。これこそが、ロータリーの精神、そして長泉ロータリークラブの強さだと感じております。渡邊ガバナー補佐におかれましては、この一年間、私たち長泉ロータリークラブを温かく見守り、時には的確なアドバイスをいただき、本当にありがとうございました。そのご支援が、私たちの活動の大きな支えとなりました。本日は期末のお忙しい中、こうして直接お越しいただけたこと、大変光栄に存じます。ありがとうございます。今期の川瀬年度で得た経験と学びを活かし、次年度も長泉ロータリークラブが地域社会にとって、より一層必要とされる存在であり続けるよう、会員一同、力を合わせて邁進してまいりたいと思います。本日の例会も、有意義な時間となりますことを心より願っております。この後も、皆様との交流を深め、楽しいひとときを過ごしましょう。それでは、本日の例会が更り多きものとなりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます、会長代理挨拶に代えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました



【幹事報告】

幹事  
望月 義明

YOSHIAKI  
MOCHIZUKI

- ・5/31の新旧会長幹事会のお手伝いのお願い
- ・6/18のホルモン同好会 出欠

## 出席報告

会員総数	出席計算に用いた会員数	出席	出席率
20名	19名	13名	89.47%

出席免除会員欠 1名 MU 4名



# ガバナー補佐期末訪問

静岡第2グループ 渡邊ガバナー補佐「今年度、私はガバナー補佐として静岡第2グループに働きかける方針をどのようにしようかと考えたとき、静岡第2グループに皆様が記念館を訪れて頂くことによりロータリーを見つめ直す良い機会になればと考えまして「米山梅吉記念館とともに」を今年度のテーマとしました。更に2025年2月16日に開催しました第2グループIMのテーマも「米山梅吉記念館とともに」としまして、米山梅吉記念館設立に至った経緯と旧記念館建設までの歴史をスライド映像にて分かりやすく説明させて頂きました。また静岡県立静岡がんセンター副院長の寺島雅典先生による「がん治療の最前線」と題しまして、現在静岡がんセンターにて取り組んでいますがん治療に関するご講演をして頂きました。今年度の合同奉仕事業は、それぞれのクラブがそれぞれの地域で同時に食糧支援を行うグループ合同奉仕事業を2024年10月20日に実施いたしました。各クラブのご協力により、合同奉仕事業としてグループ内地域で食料不安を抱えている人たちに大いに貢献できたものと考えています。一年間、静岡第2グループの運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。



## Smile スマイル報告

- ・市川 昭宏 君  
AG渡邊様、本日はよろしく  
お願いいたします。
- ・渡邊 富夫 君  
ガバナー補佐としての業務を  
クラブとして1年間ご支援  
いただきありがとうございました

